

表通り裏通り

# キタオットセイ

# 「しんちゃん」の旅路

## 川越から上野、鴨川、そして太平洋へ



保護されたときよりふっくらした「しんちゃん」  
(鴨川シーワールド提供)



②



①

① 9月9日に保護された直後  
② 翌日、上野動物園に運ばれる前の様子

昨年九月に市内で保護された一頭のキタオットセイ。多くの新聞やテレビで紹介され、ご存じの市民の皆さんも多いのでは？ その後、上野動物園（台東区）で体力を回復し、現在は鴨川シーワールド（鴨川市）で海に帰る準備をしています。

九月九日、今成二丁目いまなりで保

護されたオットセイは、体長一メートルほどの生後一年から二年の雄。そのときの体重は二十三・五キロと標準の四十キロ前後を下回っていました。

キタオットセイという種類で、主に北太平洋やベーリング海を生息地としています。日本の沿岸には、冬になると雌や子どもの雄が南下してきます。南限は、房総半島付近までといわれています。生息数が減っているため、原則的には捕獲が禁止されています。そのため、国内では、研究機関の委託を受けた水族館だけで飼育できます。

このオットセイは、上野動物園で保護されることになりました。体力を回復させるため、同園内の動物病院に入院し、一か月で三十六・五キロまで回復しました。

その後、水に慣らし、外気温で飼育するために、アシカ

のプールに移されました。

新河岸川で見つかったので、同園では「新ちゃん」と呼ばれるようになりました。

そして、十二月四日、体力が回復したこともあり、海水に慣れて野生に戻るためのリハビリをするために、同園から鴨川シーワールドに移動しました。

鴨川シーワールドでは、「ロッキースーワード地下一階授乳室」という展示施設にて、「しんちゃん」として紹介されています。

二月から三月にかけて、房総半島付近までキタオットセイの群れが南下してくるのので、そのときに自然に帰される予定です。

ふるさとを遠く離れ、東京湾から隅田川または荒川を経由して新河岸川をさかのぼり、川越までやってきたしんちゃん、ふるさとに帰る日はもうまもなくです。



④

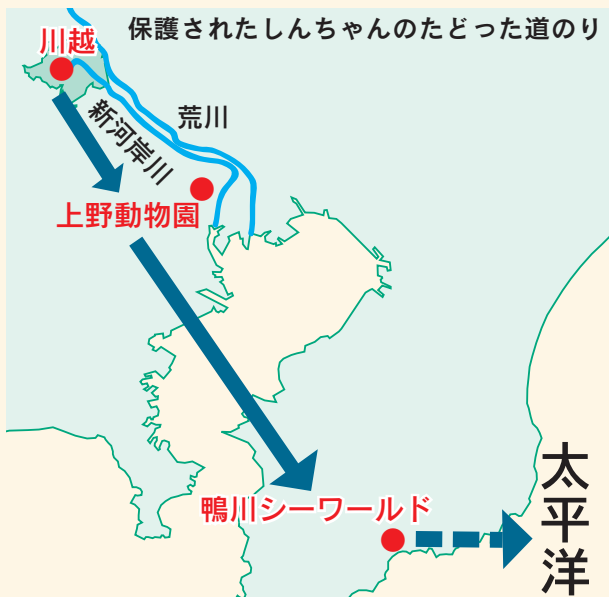


③



⑤

- ③12月4日、上野動物園から鴨川シーワールドに到着
  - ④鴨川シーワールドで公開されている「しんちゃん」。その姿に興味津々
  - ⑤鴨川シーワールドで過去に保護をしたキタオットセイの紹介文と共に、「しんちゃん」を見ることができます
- \*③～⑤は、鴨川シーワールド提供。



## 鴨川シーワールド

アシカ・アザラシ類担当課長・<sup>かつまたひろし</sup>勝俣浩さんが、「しんちゃん」について教えてくださいました

上野動物園で十分に回復した様子で、こちらに着いたときも元気でした。新しい場所に慣れるまで数日は落ち着きがありませんでした。放流を前提として飼育しているため、人になれることがないように注意しています。しかし、もともと警戒心が強いので、今のところ心配はありません。飼育員も名前では呼びません。

1週間前の体重測定では、42.5kgでした。鴨川シーワールドに来てから0.5kg増えています。現在は冷凍保存した魚を解凍して与えています。冬は水族館の来館者は少なくなりますが、土・日曜日ともなると「しんちゃん」の前には多くの人が集まります。

放流直前には、生きていた魚を捕まえて食べることができるようにしたいと考えています。また、現在の場所でなく日の当たる飼育場所への移動もしなくてはならないと考えています。そうすると少しの間「しんちゃん」を見ることができなくなってしまうかもしれません。

「しんちゃん」の放流は2月～3月を予定しています。約20年間のデータで、この時期に房総沖で保護されるケースが多いからです。放流のタイミングを計るために船を出して調査するなど、特別なことはしません。放流の決定は鴨川シーワールドで行います。そして、放流の瞬間まで、飼育員が同行する予定です。

## 「しんちゃん」を見に行こう！

古谷公民館・TEL235-1834

「しんちゃん」に会いに行き、オットセイの生態と環境問題について学びます。

日時…1月28日(日)、午前7時～午後6時 会場…鴨川シーワールド(鴨川市) 対象…親子

定員…40人(抽せん) 経費…1人3,000円

(入園料・昼食代別途) 申し込み…往復ハガキに参加者の住所・氏名・年齢・電話番号を明記し、1月17日(水)(必着)までに〒350-0001古谷上3830-2・古谷公民館(18日(木)、午後1時30分から公開抽せん)